

鍋割山山行報告

(山 域) 丹沢山塊 鍋割山

(コース) 表丹沢県民の森⇄二俣⇄後沢乗越⇄鍋割山(登山道補修・小屋のボッカ・小屋手伝い)

(日 時) 平成 29 年 4 月 16 日 (日)

(天 候) 晴れ

(参加者) CL 田中・菅井

(山行タイム) 表丹沢県民の森駐車場 5:00→二俣→後沢乗越→鍋割山 8:10

鍋割山周辺登山道の補修作業(資材ボッカ・丸太くい打ち・水切り各作業) 小屋手伝い

※鍋割山 11:30 発 14:30 着←→鍋割山稜←→塔が岳(往復登山を菅井さんが行う。)

山荘下山開始 15:10→往路を荷卸ボッカ下山→表丹沢県民の森駐車場 17:10⇒往路を帰還

(山行報告) 16 日早朝 3 時に菅井さんが田中家に集合し、田中車で出発をする。4:40 ころ駐車場に到着すると 6~7 台が停まって居て残り 1 台分のスペースにギリギリセーフで駐車した。何時もなら此处で仮眠するのだが、本日は登山道補修作業が 8:30 より有るため、身支度の後に早々と出発する。途中で丹沢豆ザクラ等の花を見ながら新緑の鍋割山稜を山荘の資材ボッカ(剱岳を目指した足腰の鍛錬を目的に)を行う。山荘に着くと 20 名弱の人が集まっておりカケヤ・大ハンマー・スコップ・鉄筋棒・ロープ・丸太杭横棒を皆が背負い周囲 2 ㌔余りの登山道を補修した。3 時間ほど作業をして喉をカラカラで山荘に戻り、振る舞われた鍋焼きうどんは空いた腹に染み渡る旨さで有った。

昼食後に菅井さんは塔が岳へ往復のハイキングに向かい、田中は山荘の手伝いをする為に厨房に入り皿洗いを 15 時まで行い、ちょうど帰還した菅井さんとゴミ降ろしボッカをしながら、往路を下山した。

帰路途中でお風呂を頂き、アクアライン経由で 21:15 に市原の田中家に帰還した。

※登山道補修で大ハンマー振り・スコップ穴掘り・鍋洗い等で指の力が無くなり、足腰もガタがきて日頃の我が身の甘やかしを悟った山旅であった。

次週も自分にカツを入れに 30 ㌔ボッカと山荘のキツイ仕事を熟してこようと考えている。



春の鍋割山稜

丹沢豆ザクラ

